

MONTHLY MAGAZINE

2001年5月1日発行 毎月1回1日発行 第40巻第5号 通巻480号 昭和40年1月20日 第三種郵便物認印

# KOBECCO

May 2001 No.480

月刊 神戸っ子 5

## Outdoor & Natural Life

ミッド・センチュリーの遺物たちと戯れる

ヴィンテージ・キャンプ  
トレッキング初体験

Town Report  
in 六甲・御影・岡本

かわいいーい、ステキを見つける  
春色、夏色 神戸っ子ご用達ショップ



Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl Kinoshita Pearl



PEARL COMMUNICATION



kinoshita  
pearl

パールサロン神戸

神戸市中央区山本通1-7-7(北野坂)

TEL.078-221-3170

FAX.078-221-9427

さりげなくあなたの手へ。



JEWELRY タジマ

神戸市元町2丁目 TEL.078(331)5761

# 祝 月刊神戸っ子40周年へのメッセージ

## 21世紀の神戸と共に歩む

水野 民郎

神戸ハーバーランドニューオータニ  
常務取締役総支配人



月刊神戸っ子さん、創立40周年おめでとうございます。  
一口に40年と言っても色々なご苦労があったと思います。

私ども神戸ハーバーランドニューオータニは、今年で開業9年目を迎えております。もちろん、この9年間の間に色々なことがありました。神戸っ子さんから見ると、まだ歴史の浅いホテルでございます。神戸のタウン誌として確固たる存在である神戸っ子さんに負けないよう、ニューオータニグループの総力を結集して来年の10周年、そしてまた20周年と歴史を積み重ねて参りたいと思います。今後も神戸の発展の為に、力を合わせてがんばっていきましょう。

## K O B E 神戸ハーバーランドニューオータニ



お迎えします。人と心にやさしいおもてなし。

JR「神戸」より徒歩2分 阪急・阪神・山陽「高速神戸」駅より徒歩4分

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-3-5

TEL.(078)360-1111 FAX.(078)360-7799  
<http://hrt.newotani.co.jp/kobe/>



## 大学も、タウン誌も市民とともに

小室 豊允

姫路獨協大学 学長



姫路獨協大学は、「地元に総合大学を」という市民の熱望を受けた姫路市と120年の伝統を誇る獨協学園との我が国初の公私協力方式により、1987年に開学した。

私は、市民の力でつくられた姫路獨協大学で「学生と市民がともに学ぶ」という姿をぜひ実現したいと思っている。本年後期からは、評論家の竹村健一さんやNECの関本忠弘さんなど多数の本学特別教授により、学生とともに市民にも開かれた講義「現代社会論」を開講する。

創刊40周年を迎えた月刊神戸っ子が、シティマガジンとして神戸市民とともに歩まれることを期待したい。

## 学園創立120周年

### 獨協学園グループ

獨協大学 獨協医科大学 姫路獨協大学  
獨協中学・高等学校 獨協埼玉中学・高等学校



## 姫路獨協大学

外国語学部・法学部・経済情報学部・大学院

姫路市上大野7-2-1

TEL.0792-23-2211

[URL://www.himeji-du.ac.jp](http://www.himeji-du.ac.jp)

# 祝 月刊神戸っ子 40周年へのメッセージ

## ともしつづけよう 神戸の灯

吳 信就

南京町商店街振興組合理事長  
民生広東料理店



創刊40周年おめでとうございます。「月刊神戸っ子」は神戸の魅力・価値を市内外にアピールできる媒体として、これまで尽力されてきました。その活動に敬意を表します。

南京町では、神戸21世紀復興記念事業の一環として、7月19日より南京町21世紀・花と光の復興祭・夏の部「福光祭」がスタートします。光に包まれる南京町で、元気な神戸を、訪れた皆様に印象づけたいと思っております。

これからもともに手を携えて、神戸のまちに消えない灯をともしつづけていこうではありませんか。

## おいしい中華をご家族で

民生広東料理店では、本格的な中華料理をお求めやすいお値段で用意しております。ご家族みなさまで、本場中華の味をご賞味ください。



# 民生

民生広東料理店 神戸市中央区元町通1-3-3  
TEL.078-331-5435

## 神戸の活性化を共にめざして

稻原 作次郎

KOBE三宮センター街 PR委員長



タウン誌月刊神戸っ子40周年おめでとうございます。ハイカラな神戸の街のイメージづくりとまちづくりをとがんばってきた神戸っ子。三宮センター街も震災後、明るく国際色豊かな“シャンテ神戸”を企画し、本場ニースからカーニバル人形を招いて、神戸の活性化を計って参りました。またニースの商店街とニューヨークの5番街とも姉妹提携し、ハイカラ神戸の特性を發揮しています。神戸の玄関口として“安心”と“清潔”をキーワードに、彫刻や花壇づくりを行いホスピタリティに気を配ったまちづくりをと願っています。

## 三宮でアート散歩に出かけよう! 三宮アートストリート構想



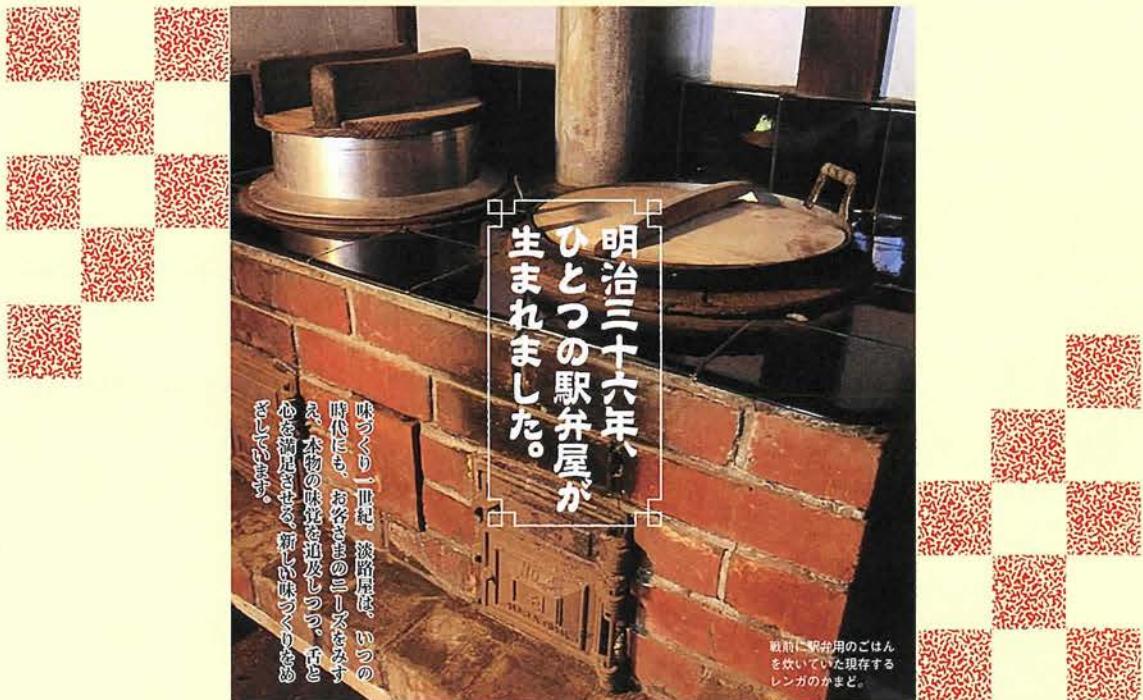
三宮センター街と生田筋の交差点に、3体の彫刻があるのをご存じでしょうか?「讃太陽」「未来にゆく者たちへ」「水のある星」と名づけられたこれらのモニュメントは、世紀の節目を記念して設置されたもの。それぞれに未来への希望が込められています。さらに、2001年7月には「花の少女」という名の新しいモニュメントがお目見えします。今後、センター街を中心とする三宮一帯に、アートを身近に感じができる散策コースを整備していく予定。お楽しみに!

インターネットで  
三宮の最新情報にアクセス!  
シャンテ神戸  
<http://www.chantez-kobe.com/>  
神戸三宮センター街1丁目商店街振興組合  
TEL (078) 331-3548

# AWAJIYA

SINCE 1903

季節のおいしさたっぷり  
充実のお弁当ラインアップ。  
和風、洋風、中華風と  
バラエティゆたか。  
四季折々とりどりの味を  
たっぷりご満喫いただけます。  
いつでもどこへでも  
あなたのお供に……。



戦前に駅弁用のごはん  
を炊いていた現在する  
レンガのかまど。

## 名物駅弁

幕之内・松花堂弁当

電話でご注文を承ります。

☎ (078) 431-1682

(イロハ二)

ご指定の時刻に

ご指定の場所にお届けいたします。

## あっしちち弁当



お弁当の  
株式会社

淡路屋

〒658-0025 神戸市東灘区魚崎南町3丁目6番18号 FAX (078) 431-1681 TELEX 5622-609

花咲く島のコンファレンス&リゾート



## 淡路夢舞台国際会議場

この5月、「第19回インターアクション・カウンシル(OBサミット)総会」会場となる「淡路夢舞台国際会議場」は豊かな環境に恵まれた絶好のロケーションで、最高の成果を達成できる会議空間をリーズナブルな価格でご提供します。「ウェスティンホテル淡路」宿泊料の割引プランや「国際会議開催助成金」、無利息の貸付金制度もあります。

■お問い合わせ・ご予約は  
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場  
〒656-2301 津名郡東浦町夢舞台1番地  
TEL (0799) 74-1020 FAX (0799) 74-1021  
ホームページアドレス <http://www.yumebutai.org>  
Eメール info@yumebutai.org  
管理運営(財)兵庫県国際交流協会

### (財)兵庫県国際交流協会

草の根の国際交流推進拠点である(財)兵庫県国際交流協会(HIA)は、平成2年4月に兵庫県によって設立された団体です。“交流共生”の21世紀の幕開けにあ

たり、この10年間を振り返り、これからの方を考える10周年記念誌「交流と共生の21世紀へ」を発行いたしました。ご希望の方には、協会事務局でお分けしています。

### HIAの10年誌ができました

■お問い合わせ  
〒651-0073  
神戸市中央区臨浜海岸通1丁目5-1  
国際健康開発センター2階  
TEL (078) 230-3260 FAX (078) 230-3280  
ホームページアドレス <http://www.hyogo-ip.or.jp>  
Eメール hia@net.hyogo-ip.or.jp



言靈に癒される  
あの日あの時を綴った  
未曾有の阪神・淡路大震災

二十人の作家たちのアンソロジー

陳舜臣 司馬遼太郎 小松左京 宮本輝  
玉岡かおる 時実新子 阪田寛夫 黒岩重吾  
藤本義一 田辺聖子 筒井康隆 齋藤稔和  
高村薫 阿久悠 滝川長治 斎藤正和  
村松友視 濑戸内寂聴 五木寛之 安水稔和  
書き下ろし 五木寛之 山崎正和  
立木義浩 小林正典 米田定蔵 木田英男  
藤本義一「ため息つきぬ」  
藤本義一「三つの間の維持」

## 作家たちの大震災

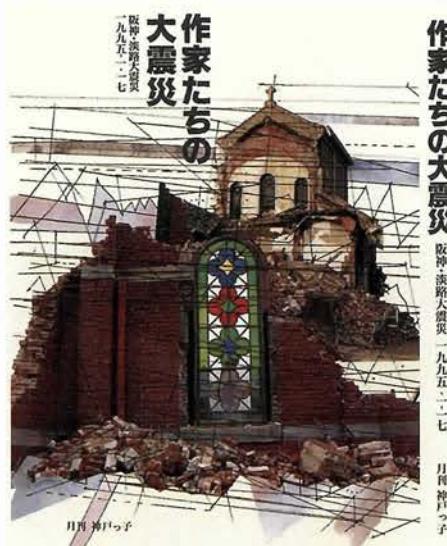
阪神・淡路大震災 1995.1.17

絶賛発売中!

発行・発売／月刊神戸っ子  
全国有名書店にて販売

定価／本体2000円+税

問い合わせ先／月刊神戸っ子 ☎078-331-2246



作家たちの大震災  
阪神・淡路大震災 一九九五年一月七日

月刊神戸っ子



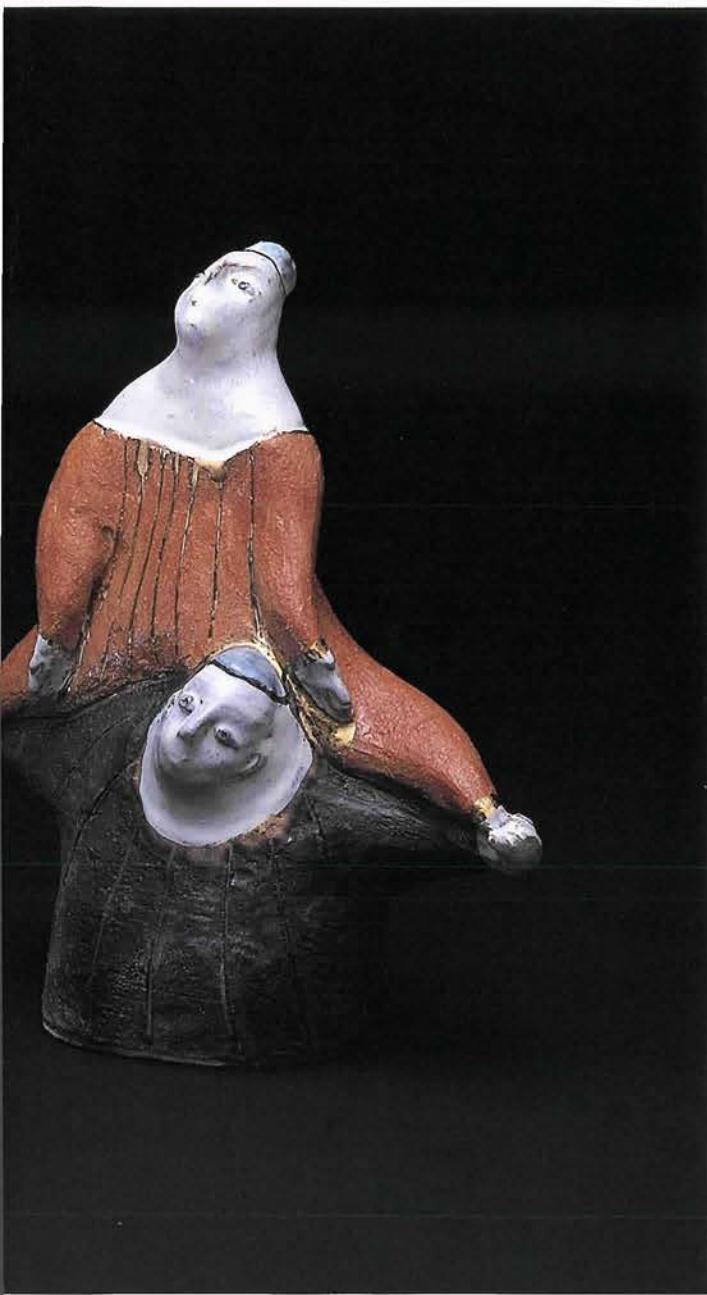
月刊神戸っ子



月刊神戸っ子

# 天からの贈られた宝もの

二人のラッパ吹き・人・肩車  
岡井 美穂 作 陶立体



イタリアの地にアトリエをかまえ10年。  
仕事場のひとつは町なか。

あとひとつはゆるやかな丘陵地帯にある。

町では午前中いっぱい露天市が立ちならび、活気があふれる。  
一年をとおして、お祭りのさわめきも聞こえてくる。

一方、丘では人をめったに見かけない。

ときおり、カモシカや野ウサギが驚くよくな速さで駆けていく。  
そんな中で生まれてくる作品たちは、

まさに天からの贈りものだ。

大きな窓をゆっくり開けると、思いもよらぬモノたちが、  
わたしに話しかけんばかりの面もかで  
とつぜん、現れてくる。



岡井 美穂 おかいみほ  
造形作家。イタリア・ファエンツァ在。1965年神戸生まれ。  
京都市立芸術大学美術学部卒。芦屋芸術学院勤務を経て90年、  
イタリア国政府官費留学生として渡伊。ファエンツァ国立陶芸  
美術学院卒後、アトリエ・陶工房をひらく。イタリアの素材よ  
り独自の世界を表現。著書に「ボスコ通りの靴音」がある。  
<http://www.actanet/miho>



■岡井 美穂 絵と陶展  
2001年5月12日(土)~5月24日(木)  
ギャラリー島田  
TEL・078・2162・8058  
<http://www.gallery-shimada.com>

# kansin street gallery <143>

21st.century  
—光と花、そして夢—

第5回 市川 京子



「植物誌」うつばかずら



いちかわ・きょうこ  
<画家・二紀会同人>  
神戸市東灘区在住

美しい花びらを揺らせて蝶を誘い、妖しい香を放つて虫を呼ぶ植物たち。地球上の30万種の植物は、様々な環境の中で逞しく、したたかに生きている。その姿に、どんな社会にも馴染み鮮やかに生きぬく女性を重ねてみてしまう。「植物誌」シリーズは、そんな草花と女性たちの記録にしたい。



生田新道に面したストリートギャラリー

“ペイシティパンクかんしん”は  
「共感・対話・信頼」を企業理念  
として、地域の文化・芸術の育成  
に努めています。

この“かんしんストリートギャラ  
リー”も芸術の香りをほのかに漂  
わせたアートスポットとして、本  
年は「21st.century—光と花、そ  
して夢」と題したシリーズで様々  
な作品を紹介してまいります。



# kansin

ふれあいウェーブ—ペイシティパンク

関西西宮信用金庫

神戸市中央区下山手通2丁目12-3 TEL 650-0011  
PHONE (078) 332-5151 (代) Fax (078) 333-9874  
<http://www.kansin.co.jp>



● OUTDOOR & NATURAL LIFE ●

ヴィンテージ・キャンプ

## ミッド・センチュリーの遺物たちと戯れる 12

サーフィン

## バリ島ウルワツのパーフェクトウェイブに乗る 16

シーカヤック体験記

スモールな感覚でできるビッグなマリンスポーツ 18



トレッキング初体験

トレッキングで見つける六甲山の自然 20



はじめるならここに行け！神戸のアウトドアショップ 24

第8回 大阪アウトドアフェスティバル 2001 29

座談会

## 「海と生物と海人たちの夢物語」 58

寺本 淳 アレックス・楊 山本 聰 姥名うらら



● Town Report in 六甲・御影・岡本 ●

かわいい、ステキを見つける

## 春色、夏色 神戸っ子ご用達ショップ 32



● TALK ●

座談会 地下鉄海岸線7月7日開通

「市民の夢を乗せて “夢かもめ”GO！」 42

大東寛治 原仁美 山形昭正 末積隆夫 松本勝利 田中辰夫 上田司郎

小室豊允夢対談 新世紀を語る

「地震と教訓をいかして 安心して暮らせるまちに」 44

西川靖一（神戸市住宅局長）

● 連載 ●

Prisme des Art 2

「天から贈られた宝もの」 岡井 美穂 8

連載小説

「化石のまちにふる雪」 藤谷ケンシ 86

● SERIES ●

● 神戸のお嬢さん／森井彩さん 宇都慶子さん 38

● 神戸っ子2001／中川孝 高島美乃 52

● コウベスマップ 54

● ある集い／MTガイド俱楽部 56

有馬温泉観光協会青年部

● キャンバスマガジン 松蔭女子学院大学 62

● ひらけ大観劇「オペラって最高にブラヴォー！」 64

● 有馬歳時記「春らんまんのさくらまつり」 66

● コウベタウンタウン／長田発3000円で自転車を！ 腕自慢のバーテンダーの競演 神戸の空を舞うラジコンの祭典 荒ぶる男たちの魂の叫びを聞け 68

● ポケットジャーナル 72

● ピットイン 74

● 神戸っ子おすすめの本 75

● メディカル「嘘下障害の夫とともに」／永田典子 76

● イベントスケジュール May 78

● 竹久夢二 愛・旅・恋ものがたり

「ゴシップで夢二 人気凋落」／中右瑛 82

● 海船港「潜水艦「まきしお」引渡式」 84

● 神戸JC新世紀インタビュー④／松尾章弘 90

● プレゼント 91

● 神戸百店会 92

● 神戸うまいもん＆ドリンクング 94

# ミニツド・センチュリリーの 遺物たちと戯れる。

好きなものやこだわっているものを探してきて、遊びの道具に使う。それは好きな絵を部屋に飾ると同じこと。

最近のランタンは確かに明るいし点火も簡単だ。でも、僕には味気なくて魅力がない。夜は暗いのが自然だから、飯を食べるとき、フォーカやナイフがどこにあるかわかるぐらいの光でもいい。古い道具だから手こするところもあるが、昔のランタンの光りのほうが快適で気持ちがいい。

その光りの秘密は霧状に氣化したガソリンが、ガラス繊維のマントルに溜まつて、それが燃える。圧縮すると熱が加わって余計ガスが霧状になる。細かな霧状になればなるほど小さな光りの固まりが集まつて、微妙な美しさで灯っているというわけだ。



ヴィンテージランタンは、川原に憩う僕らの夜を、ほどよい明るさとやしさで神秘に灯してくれる。ランタンにガスを満タンに入れる。こいつは日が落ちてから、空が薄明かりに包まれる翌朝に消える。だけど消えるときがいい。ポツと点いて消えて、又ポツと点いて消える。まるで線香花火のようにポツポツポツボ、ガス欠ですよ、あとはポンビングいりませんよと言つてるよう。そして最後にボーと燃えて消える。その最後が美しい。そして次の朝が始まる。

最近のランタンは確かに明るいし点火

も簡単だ。でも、僕には味気なくて魅  
力がない。夜は暗いのが自然だから、  
飯を食べるとき、フォークやナイフが  
どこにあるかわかるぐらいの光でもいい。  
古い道具だから手こするところもあ  
るが、昔のランタンの光りのほうが快  
適で気持ちがいい。

## 完璧なランタンは楽しくない

僕の楽しみ方のひとつとして、手にいれて始めてキャンプに持つていて、現地でああでもないこうでもないって直すことが楽しいのだ。ランタンはたくさん持っていく。点かないのがあっても、部屋で実験するより、現地で始めて試してみるほうが面白い。決定的な間違いがわかれれば、それは家に帰つての楽しみにもなるだろう。

## ヴィンテージ物にはまつていく

決して僕は懐古趣味ではない。いいモノを使いたいというだけだ。古いものに



テーブルと椅子とウォータージャグ、コールマンのフォールディング水筒、清涼飲料水や水をいれるイグルーのウォータージャグ。テーブルはアーチ型の。清涼飲料水

アメリカの情報をいかに早く知るか  
が、僕らの遊びだったのに！

道具への憧れのなかに、米軍の払い下げ品のかっこよさがあった。元町のサト



▲生のコーヒー豆を、焦げ目がつくまでブライパンで煎り続けた。石の上で細かく砕いてバーコレーターへ。ガラス部分にあがってくるコーヒーの色め好みの味が楽しめる。ゴクラクのパン焼き器は、昔からあって今まで定番のベストセラー。ぱりっと香ばしいパンを味わえる

▶上から、BUCKの19、ドイツ製ナイフ、ルマーで有名なラバラのフィラナイフ、砥ぎナイフ、60年代のドイツ製ナイフ、70年代のBUCK112、シェイドのフォーリングナイフ



興味をもつたのは、バンド仲間のやつさんがキャンプ道具がどうやこうやと言ったときだ。彼が持つてたスポーツスターという丸っこい形の525のストーブを見たときだつた。あきらかに僕が持つてたピーカンの新品ストーブより、やつのかつた。男やつたらどっちがかっこええかいうたら、やつさんの古い方がかっこよかつた。どっちがかっこいいかを確信したときから、ヴィンテージ物のよさを発見するきっかけになつた。

IN U.S.A カタログでは、ハードライフィッシングやアルアーフィッシングが好きだったようで、ノースフェースとかケルティーとか、そのカタログに載つてると同じダウンベストが

いち早くあつた。



コールマンストーブ MODEL 425 (1940年代) 丸タンクで1948年のバーツカタログにすでにあり、ファーストモデル。ツーバーナーのストーブは同時に二つの料理ができる優れモノ。ABERCROMBIE & FITCHのカタログに掲載されている425Bは3時間の使用に耐え、当時13.95ドルで販売されている

ウブランザーズや神戸の高架下も魅力的だつた。自分たちがあちこち歩いて探すのが当然だったが、80年代以後メディアがその分野のことをすべて吸収して情報を与えてくれた。「ボバイ」のプレ創刊号



ツーバーナーで作る豪華野外料理 古い道具を使ってどこまで本格的な料理ができるかと、スペイン料理のパエジヤ、トルティーヤ・シャ・ケイジャン料理のひとつ、ガソースープにチャレンジ。使用器具は、コールマンのシングルとツーバーナーストーブ。パエジヤ鍋が大きいので一台を占領。火力が二つなので、たえず鍋をくるくる回し焦げつかないように注意が必要だ。ガソースープは、エビ、鶏肉、タイのあら、野菜、米、缶詰めのブイヤベースを箇鍋でじっくり煮込み、塩、オクラ、トウガラシを入れる。何でもぶつこんだので濃厚スープが誕生した。そこがまた大胆かつ野生感あふれる野外料理の醍醐味といえる。



それまで僕はサーフ  
アーでやつさんはミ  
ュージシャンだった

古いランタンは今のランタンと違って儀式が必要だ。ジェネレーターの調子や気温によっては、ガソリンが酸化しないでホヤがまっ黒になることもある。そこでホヤをはずして点火の状態をみることから始まる。コールマンランタンのご機嫌をみながら火を灯す道前君



やつさんと僕は大学のころ地元の喫茶店で知りあつた。キャンプ好きのやつさんが山関係の本を読んでいたら、僕の田舎の三重県のすこく奥地に、バスがいることが判明した。それが僕らのキャンプとバス釣りへのアプローチとなつた。それまで僕らはアメリカ南部の音楽をバンドを組んでやつていた。とにかく南部が好きで、バス釣りは南部の遊びやと解釣して、単にそれだけでバス釣りをやろうと決めた。どんな遊びなところへ行つても、日常とかわりな

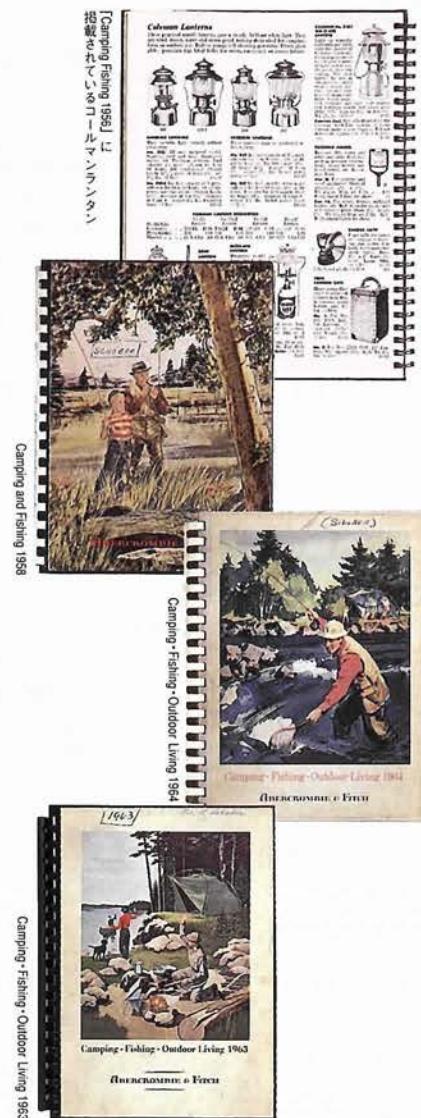
く優雅に過ごすのが、アメリカスタイルのキャンプだというのがやつさんの持論だつた。それならと、コールマンのコテージというコットン地で重たい大きなテントを持つていつた。そして、地べたではなくベッドで寝るのだ。朝食はパンケーキとカリカリベーコンとスクランブルエッグ。アメリカっぽさに憧れていたからだ。

当然、釣りもする。アルミ製ではない最新のバスボートをわざわざトレーラーで運んでいった。僕らにとつてキャンプは釣りをするための目的と手段の関係だつた。

ミラー社のプレミアベンチシート  
クーラー（1950年代）



夕暮れどき、ラグタイムの曲がこの日の想いを深めるように静かに流れいく。1991年ロサンゼルス・サンセットストリップのある楽器屋で、老主人の秘蔵のギターを値切ったとたん、蓋をバタッと閉められたエピソード付きのギター（1928年生まれのResonator-Guitarはナショナルのトライコーン）を弾くやつさん

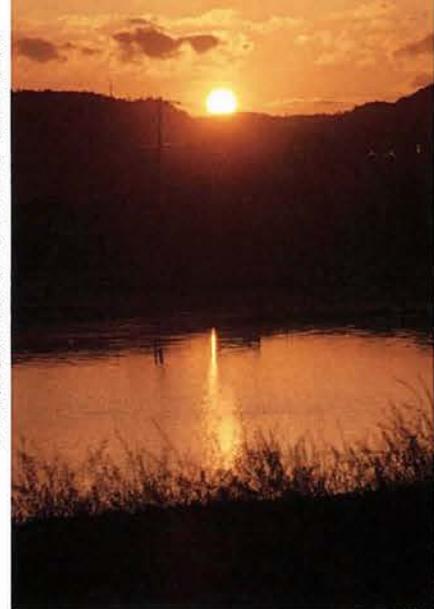


## ミッドセンチュリーのセレクトカタログ

60年代後半ごろ。日本では一般的な釣りの手法は竹竿に錘りをつけて、餌もミミズやゴカイで釣りをしていた。一部の人の贅沢な遊びであったルアーフィッシングも、アメリカでは一般人のライフスタイルの一部だった。ステーションワゴンにカヌーを積んで、大自然の中でキャンプをして釣りやハンティングをする。A&F社のセレクトカタログには、当時の夢と豊かさを象徴する遊びの道具がいっぱい詰め込まれている。このカタログのすばらしいところは、コールマン社、アブ社、ヘドン社などの由緒正しいこだわり商品しか掲載していないことだ。ルアーヒトツをみても、当時の優れた品ばかりが並んでいる。狩猟道具のガンやカービング、釣り道具では、オリジナル商品として掲載されているマホガニー仕立てのタックルボックスが42.50ドル。二人用のナイロンテントが107.50ドル。釣り用の服や靴、もちろん登山用品、キャンプ道具など、あらゆるアウトドア用品がある。

A&F社はこのカタログを「The Greatest Sporting Goods Store In The World」と称している。アウトドアをスポーツとしてとらえ、提示していることに注目させられる。

吉井川が夕日で赤く染まる。赤ランタンの灯も太陽に融合していく



## 本場アメリカでほんとうのリゾートを知った

91年には、やつさんと友だち3人で、リゾートの本場へ行ってバス釣りをしようと、ミズーリー州のビッグシダーロッジへ行った。そのスケールの大きさと遊び方にびっくりして、リゾートの考え方の違いを思い知られた。

どこでも、湖沿いの一軒家には駐車場のなかにボートがある。4時ごろ仕事が終わって夕涼みがてら釣りをしたり、夕飯を終えてから船をだして釣りする。アメリカ人の釣りの仕方はとても自然で生活にマッチしていた。  
僕らも抑圧された釣りは好みない。わざと古いタックルで釣る。そのプロセスが大切でバスが釣れなくても、道中が美しかったり、フィールドで作った料理が以外においしかつたりするのがほんとうに楽しいのだ。



オセージアンのカヌーで「Field & Stream」のごく、野と川でバス釣り。アメリカ人にとって釣りはハンティングの延長線上の遊びだった

# Outdoor & Natural Life サーフィン バリ島 ウルワツの パーフェクトウェイブに乗る

どんどん人間が開発の名のもとに、  
壊している自然、僕たちサーファーは、  
自然のありがたさを忘れず、  
次世代へこの波を残したい。

写真提供／ホールドアウト

サーフショップ  
「ホールドアウト」オーナー **南野 進**

## バリ島への ファーストサーフトリップ

初めてのバリは17年前、灘区にサーファーショップをオープンした春だった。大阪からの出発便は、東京ジャカルタ経由で週一便しかなく、丸一日がかりでデンパサール空港まで行つた。

当時現地には、日本人も少なく一部のホテル以外、バンガローか、ロスメンにしか泊まらず、もちろん電気などは空港と、クタの一部しかない。シャワーも水しか出ない。電話は、街に2カ所あつたと思う。

メインの海へ行く足は、バイクをレンタルし、遠くへ行くときは、乗り合いバスのベモ（軽四の三輪トラック）をチャーターして行動していた。海は外洋なのでウネリがダイレクトに入り、波も日本の台風のときのようにパワーがあり、ウルワツ、ヌサドゥア、サヌール、リーフなど



レインボーガン島に渡るチャーター船上で。浜松のサーファー・カンボウ（左）とSUE・南野（右）

ティビは「スチヤン、私のボドは。」と聞くのでまだできていなことを伝えると少しガッカリされた。

5年ほど前からのつきあいで、古くからの友人リザール・タンジュン（バリのプロサーファー）に紹介さ

## 2001年4月 バリ島サーフ最新版日記

4月3日

関西空港からGA882にて、バリに出発。6時間のフライト後、デンパサール空港に着いた。現地時間午後5時。（時差はマイナス1時間）出迎えてくれたのは地元プロサーファーで、ティビー・ジャブリック。



マッシュルームロックのポイント前。木影の休憩地点

いた。私に会うことより、自分のボードをピックUPするつもりでやつてきたようだ。

#### 4月4日

まずホテル前のビーチをチェック。波は小さめのコシームネ。このサイズだとウルワツの波はそこそこあるはず。急いで車にボードを積み込みウルワツへ向かった。やはりセットで4フィートはある、ブレイクが少し早そうにみえたが、それより驚いたことは、車と人の数が日本のどこかのメジャーポイント並みとなつていた。

波に乗るのも大変で1.ビーチに20人はいる。おまけにセットくらつた



ヌサドアの浜辺。カヌーに乗ってポイントへ行く前に。ホールドアウトのチーム員たち



ヌサドアとマッシュルームロック  
の間のシークレットポイント

波に乗るのも大変で1.ビーチに20人はいる。おまけにセットくらつた

朝夕がハイタイドなのでビーチでパトリングのリハビリをかねてサンфин。夕方に少しサイズアップしきつたので、明日もう一度ウルワツへ行くことにした。

#### 4月5日

早朝だったのでサーファーは少ない。いい波に乗れた。サイズは5.6フィート。センタービーチからテイクオフ、1回チューブになりそから加速してフルスピードでコーナーへ。ここでもう1度チューブになり、ブルアウト。約30m→50m位走れる。最高！

少し潮が引き、込み返しがサイズ

UPし、コーナーでパーエクトな

チューブになることをみんなウルワ



夕食はケチャダンスを観ながら

ツ大好きサーファーは知っている。

リザール・タンジェンがやってきた。3ヶ月間ハワイのノースで修業

して、そのあとオーストラリアにコ

ンテストに行き、2日前に帰ってきた

たそうだ。深いボトムターンリップ

ング、加速、そしてコーナーへのデ

ィープなチューブライディング。す

ごい！ ウルワツの波を知り尽くし

ている。明日はクタリーフに行こう！ 本日終了！

#### 4月7日

朝、いつものビーチチェック。やはりサイズアップ。潮目を見て、クタリーフのカヌー乗り場へ。

SUE「スマットベギカトラ」  
カトウ「アバガバール」  
「いつ来た！」

またいつもの挨拶。

カヌーでポイントに着くと、まだ朝の8時なのに、10人ほどがサーフ

のサーフボードを折つている。

サイズはダウンして2~3フィート。バリニーズが「SUE、友だちのボードが折れたよ」と教えてくれた。足を引きずりながら、きたので見ると、引っ搔き傷で、浅い。安心した。

インをしてる。リーフポイントにはポイントブレイクのルールがあり、少しずつビーチへ行き、だれが、どこから乗つてくるか？ ビジターか？ 必ずチェックする。

このポイントは波は少し柔らかく、ブレイクスピードもややメロー。こんな時は、ガツガツ乗らずに、のんびりラックスサーフィン。セットの数が多いし長く乗れる。

帰りに全身マッサージ。バグース。

次の日、チーム員がパリに来るので、ウルワツに連れて行く事にした。

ウルワツはバリ島の南の先にある。波にパワーがあり、上級者オンリーのパーエクトウェイブが押し寄せる。このポイントでもう何本ものサーフボードを折つている。

サイズはダウントして2~3フィート。バリニーズが「SUE、友だちのボードが折れたよ」と教えてくれた。足を引きずりながら、きたので見ると、引っ搔き傷で、浅い。安心した。

#### 南野進

みなみのすすむ  
1961年7月27日生まれ。サーフショップ「ホールドアウト」オーナー。バリ島を中心に行なうサーフィンツアーを組んで自らも現役サーファーとして日本とバリを行往する日々。サーフィン・スノーボードのインストラクター及び、公認大会のジャッジなどの指導者でもある。

Outdoor & Natural Life

# シーカヤック 記 スモールな感覚ができる ビッグなマリンスポーツ

写真／増本僚司 協力／浦田哲也



暖かくなってくるとなぜか海が恋しくなってくる。  
一足先に海遊び、マリンスポーツをしよう。

## 初めてのカヤック体験

アウトドアプロショップのP.S.Kのハーフディ・シーカヤック体験をするため、香川園浜へ向かった。

この日自分で用意したものは、Tシャツと帽子だけ。後のものはすべて、ショッピングで用意してくれた。この日のインストラクターの浦田さんは、カヌー歴8年の経験豊かなシーカヤッカーだった。毎週、日本海や四国・徳島などでシーカヤックを楽しんでいる人である。同行カメラマンの増本さんもカヤックに乗るのは初めてだ。増本さんに無理をしてもらいカヤックに乗りつて、3艇で海遊びに出発ということになった。

まず最初はやはり準備体操。神妙な顔でカヤックに乗り込んだ。春の穏やかな日差しがあっても、まだまだ海水は冷たい。水に濡れるには少し抵抗があった。

### 海に座ると景色が変わる

乗った瞬間、水上の乗りもの独特のやさしい揺れが心地よい。ゆっくりとカヤックを漕ぎ出してみた。海上では視界がワイドなスクリーンのように流れ、冒險をしている気分になつて昂揚した。

パドル（漕ぐこと）を思いつきり

シーカヤックは、海・大自然をそのままカラダにしみ込ませてくれる。しかし、海に出た以上、海上での判断をすべて自分の責任において行なわなければならない。初心者はインストラクターに、ナビゲーションしてもらいシーマンシップを教えてもらう。そして理論と実践によつて少しずつ経験を積み重ねていく。このように成長していくと、シーカヤックは、人間の力でとつもない距離を航海できる無限の可能性を秘めている。インストラクターの浦田

「どこかいい景色、ないですか？」  
「じゃあ沖に出ましょう」と浦田さん。

早くしたり、ターンしたり自由自在に遊べる。浦田さんは正確な動きで漕いでいた。



長さ約5m重さ約25kgのカヤック。これが今日の海へ我々を海に導いてくれた

さんによるとシーカヤックで垂水から淡路島まで3時間で行けるそうだ。

1時間半ほどライディングを楽しんでから今津浜に上陸。ここは、海水の流れがいい所なので、とても水が澄んでいた。

### 無我夢中で海面に顔をだす

ここでエスキモーロールの練習をしようということになった。エスキモーロールとはカヤックでバランスを崩したとき逆さまになってしまふので起きあがるための方法をいう。カヤックをロールして、水中で体を捻りながら海底に向けてオールを水中でたたきつけると、水圧とカラダの捻りのエネルギーで水面に戻ることができる。

1回目は、浦田さんに岸辺で、ロールしてもらい起き上がろうとしたが、水の中に入るとコーチングして



はやる気持ちを抑えつつ。インストラクターの浦田さん(右)に説明を受ける



パドルを持つときは肩幅より少し広げて上になる手で押す



ストレッチ運動は入念に。使う筋力は腰からうえ

もらつたことなどすっかり吹っ飛んで、ただ海面へガムシャラに浮上しただけであった。結構キツイ。

2回目は、自分でロールするため

に、パドルをした瞬間、いきなりバランスを崩し、ひっくり返つてしまつた。いきなりのことだったので、パニックになつてカヤックから脱出することしか考えられなくてただばたついていたという感じ。足はボトに引っ掛けたまま。それから何度か海上と水中をさ迷いやつと脱出に成功した。

足がついてよかつたと海底に足をつけると、そこはヘドロの海底だった。けれどもこういう体験はなかなかできないので、素直に感激した。「こういう体験は積んだ方がいいですよ」と浦田さん。初心者は、すぐには成功しないらしい。

シーカヤックは、アドベンチャー感覚あふれるスポーツでありながら

ら、手軽に楽しめるマリンスポーツである。  
(本誌・大原)

■お問い合わせ先  
アウトドアショップ「P.S.K」  
尼崎市昭和通8・274  
☎ 06・6418・9338



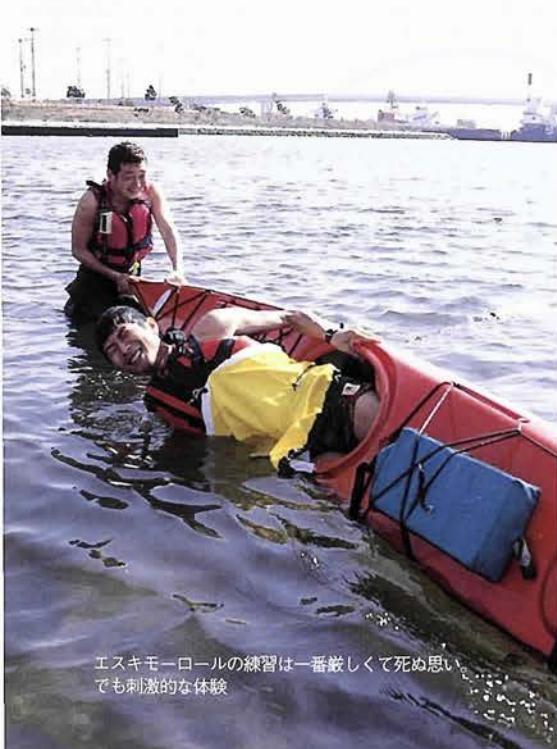
カヤックに乗りこみ、水の浸水を防ぐためスプレースカートをつける



今津浜を経て香櫞園浜へ。いっぱいのカヤッカーになった気分



スイスイと海のうえを滑るようカヤックを漕ぎ出した



エスキモーロールの練習は一番厳しくて死ぬ思い。でも刺激的な体験

カヌー・ボランティア団体「筏舟クラブ」震災遺児や障害者の方々をカヌーに乗せてその楽しさを伝えていく。年に5回ほど実施している。只今ボランティアを募集している。  
事務局は「P.S.K」内。